

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2002-15086

(P2002-15086A)

(43)公開日 平成14年1月18日(2002.1.18)

(51)Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テマコード*(参考)	
G 0 6 F 17/60	1 4 0	G 0 6 F 17/60	1 4 0	5 B 0 4 9
	2 2 2		2 2 2	5 B 0 5 5
15/00	3 3 0	15/00	3 3 0 F	5 B 0 8 5

審査請求 未請求 請求項の数4 O L (全 5 頁)

(21)出願番号 特願2000-196045(P2000-196045)

(22)出願日 平成12年6月29日(2000.6.29)

(71)出願人 000000295

沖電気工業株式会社

東京都港区虎ノ門1丁目7番12号

(72)発明者 大野 真義

東京都港区虎ノ門1丁目7番12号 沖電気
工業株式会社内

(74)代理人 100082050

弁理士 佐藤 幸男

Fターム(参考) 5B049 AA05 BB46 CC00 EE05 EE08

EE10 GG00 GG07

5B055 BB16 EE03 EE27 FA05 FB03

HB02 HB04

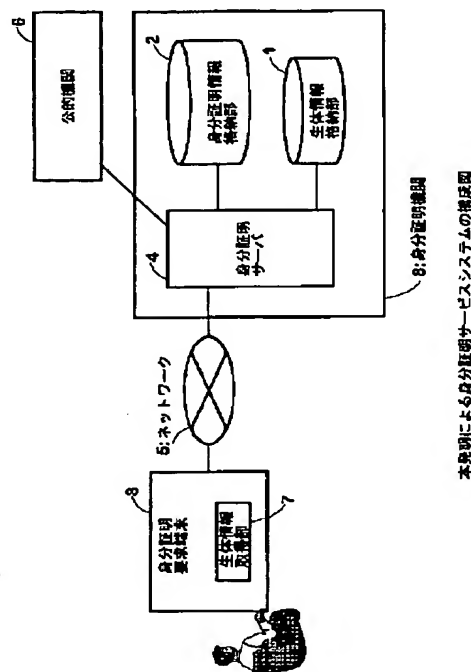
5B085 AE25 BE01

(54)【発明の名称】 身分証明サービス方法及びそのシステム

(57)【要約】

【解決手段】 身分証明機関8の生体情報格納部1は、取得した身分証明要求者の生体情報を登録データとして格納し、身分証明情報格納部2は、要求者の身分証明情報を格納し、身分証明要求端末3は、要求者の生体情報を取得し、身分証明機関8側へ身分証明を要求する。身分証明機関8の身分証明サーバ4は、身分証明要求端末3から受信した生体情報を登録生体情報と照合し、一致したときに対応する身分証明情報を格納部2から読み出して身分証明要求端末へ送信する。

【効果】 迅速かつ正確に身分証明を受けることができ、かつ登録後に身分が不明になる等が生じてもその証明が可能となる。



1

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 身分証明の要求者の身分を証明するための身分証明サーバを身分証明機関側に設け、前記身分証明サーバ及び該身分証明サーバに通信回線を介して接続された身分証明要求端末にて前記要求者の身分を証明する方法であって、

前記要求者の身分証明情報及び生体情報を予め対応させて前記身分証明機関に登録し、

前記身分証明要求端末側に前記要求者の生体情報を取得する手段を設け、

該身分証明要求端末から前記通信回線を介して前記要求者の証明要求及び取得した生体情報を前記身分証明サーバに送信し、

前記身分証明サーバが受信した生体情報と前記登録した生体情報とを照合して本人確認を行った後、前記身分証明情報を前記身分証明要求端末へ送信することを特徴とする身分証明サービス方法。

【請求項 2】 前記身分証明機関は、前記要求者の身分を公的証明機関にて確認後に前記身分証明情報を登録することを特徴とする請求項 1 記載の身分証明サービス方法。

【請求項 3】 身分証明の要求者の証明要求及び生体情報を通信回線を介して送信するための身分証明要求端末と、

該身分証明要求端末と前記通信回線を介して相互に応答するために身分証明機関に設けられ、

前記要求者の身分証明情報及び生体情報が予め対応して登録されている登録部と、

前記身分証明要求端末より受信した前記生体情報と前記登録部の登録生体情報とを照合して本人確認を行い、対応する前記登録身分証明情報を前記身分証明要求端末へ送信する身分証明サーバを含むことを特徴とする身分証明サービスシステム。

【請求項 4】 前記身分証明情報は、前記要求者の身分が公的証明機関にて確認されて前記登録部に登録されることを特徴とする請求項 3 記載の身分証明サービスシステム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、個人の身分を証明する身分証明サービス方法及びそのシステムに関する。

【0002】

【従来の技術】社会生活を行う上では個人の身分証明を要求される場合が多い。即ち、金融機関で口座を新設する場合、公的機関で各種、抄本、謄本を請求する場合等である。かかる場合に、通常は運転免許証、従業員証等を窓口で提示して身分証明するのが一般的である。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】ところで、災害等により身分証明書を紛失し、又記憶喪失等の精神的障害が生

2

じ、更には高年齢となって運転免許証等の取得が不可能になった場合には、現在では自己の身分を証明することが非常に難しく、又証明に多大な時間を要してしまう。

【0004】

【課題を解決するための手段】本発明は以上の点を解決するため次の構成を採用する。

〈構成 1〉身分証明の要求者の身分を証明するための身分証明サーバを身分証明機関側に設け、身分証明サーバ及び該身分証明サーバに通信回線を介して接続された身分証明要求端末にて要求者の身分を証明する方法であって、要求者の身分証明情報及び生体情報を予め対応させて身分証明機関に登録し、身分証明要求端末側に要求者の生体情報を取得する手段を設け、該身分証明要求端末から通信回線を介して要求者の証明要求及び取得した生体情報を身分証明サーバに送信し、身分証明サーバが受信した生体情報と登録した生体情報とを照合して本人確認を行った後、身分証明情報を身分証明要求端末へ送信することを特徴とする身分証明サービス方法。

【0005】〈構成 2〉身分証明機関は、要求者の身分を公的証明機関にて確認後に身分証明情報を登録することを特徴とする。

【0006】〈構成 3〉身分証明の要求者の証明要求及び生体情報を通信回線を介して送信するための身分証明要求端末と、該身分証明要求端末と通信回線を介して相互に応答するために身分証明機関に設けられ、要求者の身分証明情報及び生体情報が予め対応して登録されている登録部と、身分証明要求端末より受信した生体情報と登録部の登録生体情報とを照合して本人確認を行い、対応する登録身分証明情報を身分証明要求端末へ送信する身分証明サーバを含むことを特徴とする身分証明サービスシステム。

【0007】〈構成 4〉身分証明情報は、要求者の身分が公的証明機関にて確認されて登録部に登録されることを特徴とする。

【0008】

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施の形態を具体例を用いて説明する。図 1 は、本発明による身分証明サービスシステムの構成図である。本発明は、生体情報を用いた身分証明サービスシステムであり、生体情報格納部 1 と、身分証明情報格納部 2 と、身分証明サーバ 4 とを含む身分証明機関 8 を有している。

【0009】身分証明機関 8 の生体情報格納部 1 は、予め取得した多数の身分証明要求者の生体情報を登録データとして登録する記憶部である。生体情報として、指紋、声紋、虹彩等を挙げることができるが、ここでは一例として虹彩に限定して以下に説明する。身分証明情報格納部 2 は、要求者を特定して証明するための身分証明情報を予め登録する記憶部である。身分証明情報とは、例えば、住所、氏名、生年月日、本籍地等、個人を特定するために必要な情報をいう。場合によっては市役所等

3

の公的機関に保管されている戸籍抄本、戸籍謄本等で示されると同一の情報であってもよい。

【0010】身分証明サーバ4は、後述する身分証明要求端末3から証明要求と共に虹彩データを受信すると、この虹彩データと上記生体情報格納部1に登録されている多数の登録虹彩データとを照合し、一致する登録虹彩データを検索する。そして、検索した登録虹彩データに対応する身分証明情報を身分証明情報格納部2から読み出して身分証明要求端末3へ送信する。

【0011】身分証明サーバ4にはネットワーク5を介して身分証明要求端末3が接続されている。この身分証明要求端末3は、身分証明の要求者が身分証明機関に対し、身分証明を要求するために利用される。即ち、身分証明要求端末3は、要求者の顔画像を撮像するカメラ及び顔画像から虹彩データを抽出、生成するデータ生成部を含む生体情報取得部7を有している。ネットワーク5は、上記、身分証明要求端末3と身分証明機関8（身分証明サーバ4）とを接続する通信回線であり、通常は公衆回線が用いられる。

【0012】本発明の動作について説明する。即ち、図2及び図3により登録要求者のデータ登録動作について説明する。

ステップS1

図2に示すように、オペレータの指示に従って、要求者から、生体情報取得部7によって顔画像を採取する。尚、要求者の操作で顔画像を採取してもよい。

ステップS2

生体情報取得部7は、顔画像から目画像を抽出し、この目画像から虹彩データを生成する。

【0013】ステップS3

次に、図3に示すように、オペレータが身分証明要求端末3を操作して、登録要求者の身分証明情報を入力する。この身分証明情報としては、通常、住所、氏名、生年月日、本籍地等、要求者を特定するために必要な情報であり、必要に応じて他の情報も追加される。

【0014】ステップS4

オペレータは身分証明要求端末3を操作し、身分証明機関8に登録要求を行うと共に、身分証明情報及び虹彩データを出力する。

ステップS5

身分証明機関8の身分証明サーバ4が登録要求及び身分証明情報等を受信すると、身分証明機関8側のオペレータ等が身分証明情報の内、確認が必要とされる一部の情報、即ち、住所、氏名、生年月日、本籍地等を公的機関（市役所等）6に問い合わせて確認する。

ステップS6

身分証明情報が、上記公的機関6で証明されると、身分証明サーバ4は、オペレータ操作により、身分証明情報を識別コードを付して身分証明情報格納部2に登録すると共に、虹彩データを同一の識別コードを付して生体情

4

報格納部1に登録する。その後、身分証明サーバ4は、身分証明要求端末3へ登録終了通知を送信する。

【0015】次に身分証明の動作について説明する。図4は、身分証明のフローチャートである。

ステップS7

身分証明の要求者が、身分証明要求端末3側のオペレータに身分証明を要求する。

ステップS8

身分証明要求端末3はオペレータ操作で生体情報取得部7を制御し、作動を開示させる。

【0016】図5は、生体情報取得のフローチャートである。

ステップS9（図5）

生体情報取得部7は、カメラによって要求者から顔画像を取得する。

ステップS10

生体情報取得部7は、顔画像から目画像を抽出し、虹彩データを生成する。この場合に顔画像に目が映っていない等により虹彩データを取得できない場合等も発生する。その時は、顔画像を再取得する。

ステップS11

身分証明要求端末3は、虹彩データが生成されると、証明要求と共に、この虹彩データをネットワーク5を介して身分証明サーバ4へ送信する。

【0017】図6は、照合検索のフローチャートである。

ステップS12

身分証明サーバ4は、ネットワーク5を介して虹彩データを受信すると、この虹彩データを生体情報格納部1の登録虹彩データと順次照合する。

ステップS13

一致する登録虹彩データが存在した時はステップS14へ、存在しない時はステップS16へ進む。

ステップS14

身分証明情報が登録されていない旨を身分証明要求端末3へ通知する。

ステップS15

一致する虹彩データが存在すると、身分証明サーバ4は、識別コードを検索子として身分証明情報格納部2を検索し、対応する身分証明情報を取り込む。

【0018】ステップS16

次に、身分証明サーバ4は、この身分証明情報をネットワーク5を介して身分証明要求端末3へ送信する。

ステップS17（図4）

身分証明要求端末3は、身分証明情報を表示部に表示すると共に、オペレータが必要に応じて要求者に確認させ、該身分証明情報に基づいて身分証明証を印字出力させる。

【0019】以上の説明では、生体情報として虹彩データを説明したが、他の生体情報、例えば指紋等による場

5

合でも全く同様にして身分証明を行うことが可能である。上記実施例では、登録データは、身分証明要求端末3側より送信して身分証明機関8側へ登録しているが、身分証明機関8に生体情報取得部7を設けて虹彩データを生成し、かつ身分証明サーバ4より身分証明情報を直接的に入力するようにしてもよい。

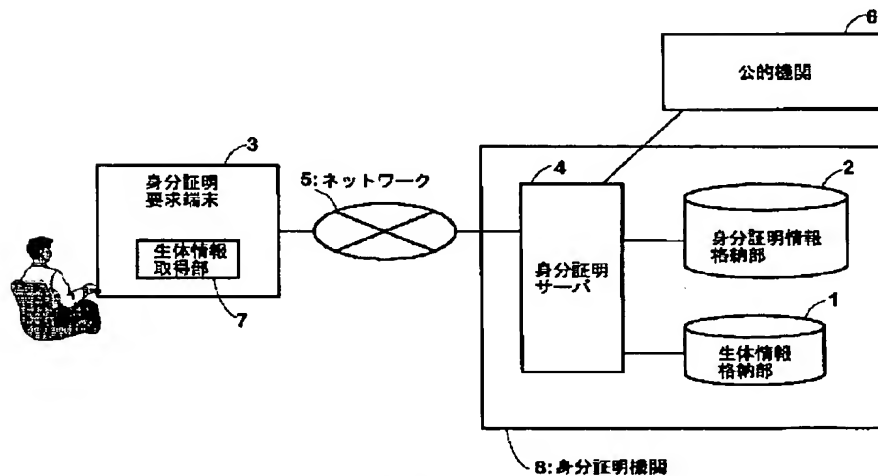
【0020】

【発明の効果】本発明によれば、身分証明機関を設けて予め要求者の身分証明情報及び生体情報を登録し、身分証明要求端末より生体情報を送信して本人確認をした上で該端末に身分証明情報を送信するようにしたので、災害等により身分証明証を紛失した場合でも迅速かつ簡単に身分を証明することができる上に、登録後に記憶喪失等が生じたり、高齢により身分証明証等の取得が困難になる等の問題が生じてても容易にその身分を証明することができる。

【図面の簡単な説明】

*

【図1】



本発明による身分証明サービスシステムの構成図

6

*【図1】本発明による身分証明サービスシステムの構成図である。

【図2】データ取得のフローチャートである。

【図3】個人情報登録のフローチャートである。

【図4】身分証明のフローチャートである。

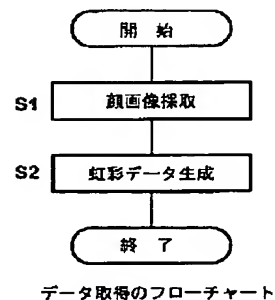
【図5】生体情報取得のフローチャートである。

【図6】照合検索のフローチャートである。

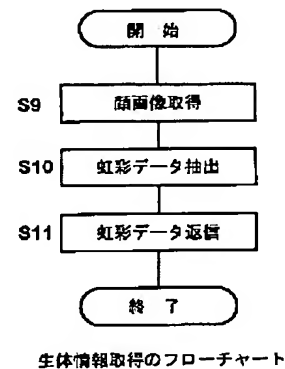
【符号の説明】

- 1 生体情報格納部
- 2 身分証明情報格納部
- 3 身分証明要求端末
- 4 身分証明サーバ
- 5 ネットワーク
- 6 公的機関
- 7 生体情報取得部
- 8 身分証明機関

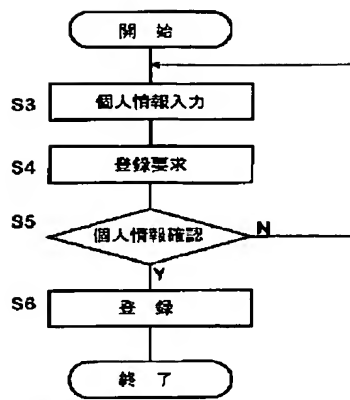
【図2】



【図5】

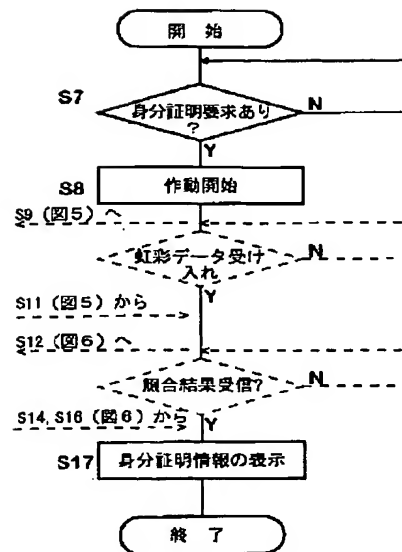


【図3】



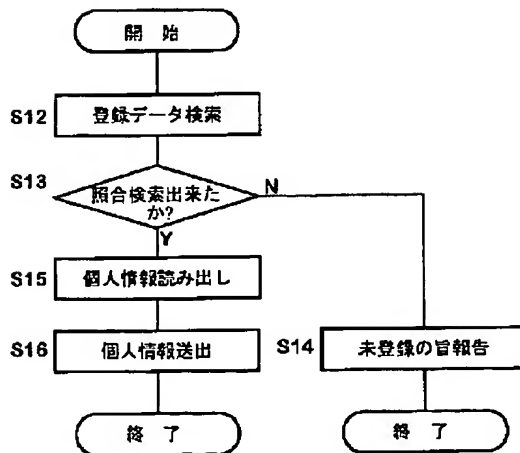
個人情報登録のフローチャート

【図4】



身分証明のフローチャート

【図6】



照合検索のフローチャート